かわさき 図書館だより

第 25 号
平成23年6月1日発行

図書館ホームページ：http://www.library.city.kawasaki.jp/

東日本大震災の影響等につきまして

東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、
被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

3月中は臨時休館や開館時間の短縮、予約受付停止等のサービス制限で利用者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしました。

4月2日以降は通常通りのサービスを実施しておりますが、今夏の電力需要等の社会状況によりましては、再度サービスの変更をさせていただく場合もございます。

その際にはホームページや館内掲示でお知らせをいたしますのでご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

●図書館にいる時に地震が来たら…

揺れを感じたらまずは高い書棚から離れて、本の落下や棚の転倒に備え安全を確保してください。
避難の際は、職員の誘導に従って落ち着いて行動してください。

地震直後の図書館内（川崎図書館）

●川崎市内に避難されている方々の図書館利用について

川崎市内で避難生活を送られている方も利用登録をしていただけます。
本人確認のできるもの（免許証・保険証など）をお持ちであれば、ご持参下さい。
何もお持ちでない場合でもご登録いただけますので、図書館窓口でご相談下さい。

ご利用ください

貸出延長サービス

貸出延長サービスをご存知ですか？

返却期限が来るけれど、まだ読み終わっていない、返しに行けない……という時に、図書館まで足を運ばなくても今借りている本の貸出期間を延長することができます。

①図書館ホームページで（携帯電話からも）

利用者メニュー⇒貸出状況確認（携帯電話では貸出状況照会）と進み、延長したい資料名をクリック。
貸出資料詳細画面の一番下に「貸出延長」ボタンがありますのでクリックしてください。

②自動音声応答サービスで（専用電話番号：044−739−0062）

「返却期限延長」メニューを選択し、音声の案内に従って貸出カード番号、パスワードを入力し、延長処理を行ってください。（お手元に延長したい資料をご用意いただくと、資料番号からすぐに希望の資料の延長処理に入れて便利です。）

＊どちらのサービスも、利用にはパスワードの設定が必要です。①の図書館ホームページ（携帯電話）からは利用者メニューからご自身でパスワードの登録をしていただけますが、自動音声応答システムをご利用になるには、最初にお近くの図書館で「仮パスワード」の発行をうける必要があります。
＊延長は1回に限り、最初の返却日から15日間となります。（返却日前に延長手続きをされた場合は、手続きをされた日から15日後までとなります。）
＊予約が入っているものや既に一度延長されたもの、最初の返却日から15日を過ぎたものは延長手続きができませんのでご注意ください。

詳しくは図書館ホームページや利用案内をご覧いただくか、 最寄りの図書館窓口でお尋ね下さい。

円筒分水　竣工70周年

◎円筒分水ってどんなもの？

水を正確な比率で分配するために作られた装置で「分水工」というものですが、円筒形の筒を組み合わせた形状から「円筒分水」とも呼ばれます。

川崎の円筒分水は正式名称を「二ヶ領用水久地円筒分水」といいます。その名の通り二ヶ領用水の水をより正確に下流の農地に分配するため昭和16年に造られ、今年で70周年を迎えます。平成10年には川崎市初の国の登録有形文化財になっています。

◎今年の1月にはサミットも開催

群馬や大分など、各地の「円筒分水」関係者が集まって、高津市民館で「第1回全国円筒分水サミット」が開催されました。

◎パスファインダーもご利用ください。

特定のテーマについて調べるためのツール（資料）を集めて紹介する「パスファインダー」。前回の「二ヶ領用水」に続いて「円筒分水」を作成しました。

各図書館で配布するほか市立図書館ホームページの地域資料コーナー「わが街・かわさき」にも掲載を予定していますので、「円筒分水について調べてみたい」と思った時には是非ご利用ください。

第16回 We Love! KAWASAKI

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。

第16回目は「円筒分水」に関する本を集めました。

A：『ワンダー JAPAN』13号特別企画「円筒分水の魅力」
（株式会社三才ブックス）

田んぼのなかにUFO？それとも巨大なお椀？全国の水田地帯にひっそりと残り、現役で稼働している円筒分水たちの魅力を紹介しています。

A

B：『水恩の人ー多摩川治水と平賀栄治ー』
小林孝雄/著　出版文化社

円筒分水の設計者平賀栄治氏の治水に捧げた生涯を綴った作品。円筒分水の他、同氏設計の宿河原の堰堤についても詳しく触れられ、平賀氏の治水、特に多摩川の治水にかけた情熱が伝わってきます。円筒分水竣工当時の写真も載っています。

B

C：『第1回全国円筒分水サミット開催報告ブックレット』
発行：第1回全国円筒分水サミット実行委員会/川崎市高津区役所

円筒分水についてのあれこれがコンパクトにまとめられた1冊。円筒分水の歴史や構造解説から、今年1月に開催された「第1回円筒分水サミット」の開催記録、円筒分水写真展まで、オールカラーで楽しめる内容です。

C

近年ますます注目され、芸術作品だけでなく多彩な分野での著作も残した岡本太郎。まんが作品からキャラクターたちが活躍する参考書まで、世代をこえた人気を誇る藤子・F・不二雄。
川崎市にゆかりのお二人は実は大の読書人でもあり、今年そろって記念の年を迎えました。

生誕100年 岡本太郎 記念展覧会開催中！

1911年2月26日に現在の高津区二子で生まれ、今年生誕100年を迎えた岡本太郎。川崎市岡本太郎美術館ではこれを記念して常設展「生誕100年あっぱれ太郎　岡本太郎の仮面」展が4月7日から7月3日まで、企画展「生誕100年　人間・岡本太郎」展が4月16日から9月25日まで（前期：4月16日～7月3日、後期：7月7日～9月25日。前期と後期で展示テーマが変ります。）開催されています。（問合せは岡本太郎美術館　TEL044－900－9898）
川崎市立図書館では、美術館の展覧会図録や作品解説等の美術書、岡本太郎自身の著書はもちろん、週刊誌に掲載された人生相談への回答を収録した『プレイボーイの人生相談』（集英社・2006年刊）など多数の関連資料を所蔵しています。また、市立多摩図書館では岡本太郎美術館との共同企画として、パネル等の展示と合わせ岡本太郎に関する資料のコーナーを設けています。（左上写真）お近くの方はぜひお立ち寄り下さい。

いよいよ開館！
川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム

©Fujiko-Pro

長年川崎市多摩区に住まわれ、「オバケのQ太郎」「ドラえもん」をはじめ数々の作品を生み出した漫画家、藤子・F・不二雄（本名：藤本弘）氏の作品等を展示するミュージアムがいよいよ今年9月3日に川崎市多摩区にオープンします。
人気作品の原画を見ることができる「展示室」、発想の源である膨大な書籍やコレクションが再現され、多くの作品を生み出した愛用の机も展示される「先生の部屋」、おなじみのキャラクターと出会える「屋上ひろば」などを通じて作品の世界を体感できる施設です。

※川崎市立図書館では基本的にまんがの収集をしておりませんが、学習まんがのシリーズなど一部作品を所蔵しています。また、ミュージアム内にはまんがが読めるライブラリーも設置されます。

フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

KAWASAKI Frontale

わが川崎のサッカーJ1チーム「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。第6回目は、矢島選手が選ぶ1冊を紹介します。

『アヒルと鴨のコインロッカー』伊坂幸太郎／著　【東京創元社】

≪あらすじ≫　「一緒に本屋を襲わないか－」。初対面の隣人から、一冊の広辞苑を奪うというとんでもない強盗計画を持ちかけられた僕。そこから、いくつかの物語がパズルのように組み合い、やがて浮かび上がるもう一つの物語。第25回吉川英治文学新人賞受賞作。

＊＊＊矢島選手より＊＊＊

現実感があるような無いような話なので、無人島で読むのにぴったりだと思います。ストーリーの中にボブ・ディランの歌が引用されていて、彼の歌を聴いてみたくなりCDまで借りてしまいました。

【FW15　矢島卓郎選手】

日本人離れしたスピードとパワーを併せ持つ、スケールの大きなストライカー。昨年から苦しめられた怪我も癒え、いよいよゴール量産が期待される。プレー同様、読書も豪快で、長編シリーズも気になり始めると寸暇を惜しんで一気に読み終えてしまう集中力を誇る。

かわさき歴史めぐり (24)

徳川氏の関東入国と川崎市域－24－

法政大学名誉教授
村　上　　直

川崎市域の稲作農業は、多摩川（玉川）や鶴見川の流水を利用した平地（沖積平野）を中心に豊かな水田地帯が形成されていきましたが、西北部の多摩丘陵の東端では湧水や谷水を利用した谷戸田を中心とする稲作が行われていました。ところで水田地帯には、乾田と湿田の区別があります。

乾田とは、用水を引いた耕作地です。この田では二毛作ができ、稲の裏作として麦をつくることが多いのです。そのため、一般には麦田と呼ぶ所もあります。これにたいして湿田は常に水がある水田のことで、裏作のできない一毛作のことです。市域では、このような田を深田、沼田、ドブッタなどと呼んでいます。深田は、丘陵である谷戸の地域だけではなく、海岸地帯に近い耕地にも存在していました。こうした深田では縦横に丸太を沈め、その上を跳で渡り歩きながら田植えの作業を行ったといわれます。また、田を起こすために牛を入れたとき、その牛が泥田から出られなくなったという話も伝えられています。

稲の品種は、地域によって違いました。早稲、中稲、晩稲などがあり、米のうまさや、収穫量も異なるので、地域によく合った品種を使用しています。とくに、稲の穂が大きかったり茎の長い場合は、農間渡世に縄を綯ったり、菰を織ったりするのに利用されました。

農耕生活は、稲作を中心に裏作の麦その他を栽培して、日常の生活が行われていましたが、特に農間渡世については注目されます。「村明細帳」によって、江戸時代についてみますと、稲荷新田は「男は縄・草鞋、貝類採取」、池上新田は「男は貝類、小魚」、川崎宿は「男は往還物（東海道）持運び、女は木綿機織」、塚越村は「江戸表より尿持運び、縄・筵」、下平間村は「江戸表より尿持運び、縄・筵」、鹿島田村は「六布菰・糸菰織、江戸より尿持運び」、南加瀬村は「縄、こも」、北加瀬村は「菰・六布菰」とあります。また、木月村では「縄・俵拵え」（天保14年）、「縄・菰・紙漉」（慶応4年）、今井村では「六布菰仕立売出、江戸表より尿持運び」、上小田中村は今井村と同じく「六布菰仕立、江戸表より尿持運び」とあります。

この「村明細帳」は毎年の農間渡世を詳細に記して領主（代官・旗本など）へ差出しているわけではありませんが、川崎市域の各村の農耕以外の仕事（副業）の状態を知ることができます。（『川崎市史』別編・民俗。川崎市市民ミュージアム『村況史料集』上〔川崎史資料叢書第一巻〕。）

川崎行政サービスコーナーに図書返却ポストを設置しました。

川崎駅東口地下街「アゼリア」の「川崎行政サービスコーナー」内に図書返却ポストが設置され、3月26日からご利用いただけるようになりました。駅近くの便利な場所ですのでお買いものや通勤の途中などに是非ご利用ください。

＊**利用時間**（川崎市行政サービスコーナーの開所時間内）
月～金曜日　午前7：30～午後８：00
土日祝日　　午前9：00～午後７：00

＊**返せない資料**　CD、CD付き資料、他都市からの借受資料はポストへの返却はご遠慮下さい。

アゼリア返却ポスト

＊ポストに投入された資料の返却処理が完了するまでには少々お時間がかかる場合がございますがご了承ください。

編集・発行　川崎市立中原図書館　〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417　TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011)	高津図書館(822-2413)	麻生図書館(951-1305)	大師分館(266-3550)	橘　分館(788-1531)
幸　図書館(541-3915)	宮前図書館(888-3918)		田島分館(333-9120)	柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932)	多摩図書館(935-3400)		日吉分館(587-1491)	菅閲覧所(946-3271)